

令和元年度 第6回せたがや生涯現役ネットワーク世話人会議事要旨

日 時：令和2年1月17日（金） 午後5時～午後7時

出席者：世話人 兜山、片岡、藤田、鬼塚、石川、臼井、山根、秋山
景山

市民活動・生涯現役推進課 生方、藤木

欠席者：志水

場 所：ひだまり友遊会館 第3会議室

1 〈協議事項〉

(1) 令和2年度の生涯現役ネットワーク活動の進め方について

NPO法人せたがや移動ケアと世田谷地域デビューの会が実施しているプロジェクトで行った生涯現役ネットワーク加盟団体アンケートの結果のまとめ資料（「生涯現役ネットの団体アンケートから把握した課題の整理（案）」）及び令和元年12月23日に開催した準備会の議事録を使用して検討を行った。

まず、鬼塚氏よりアンケート結果及び活動の進め方について報告があった。報告事項は以下のとおり。アンケート結果を検討すると、各団体の希望は主に3つあり、それぞれへ対応していく必要がある。

（→は対応策）

① シニア世代の地域活動参加を促す活動の展開と後継者の育成

→プロジェクトの実施やイベントにアイデアを取り入れて活動に結びつける。

② 加盟団体への活動支援（区の名前を使用したのPRなど）

→現時点で実施しているHPや活動一覧、イベントでのチラシ配布以外の広報活動の検討を行う。

③ 加盟団体同士の交流

→検討中。（2）交流会について参照。

来年度の具体的な活動としては以下を求められていると考えられる。

- ・仕組みづくりプロジェクトの実施
 - ・既存事業のみなおし（大人の学園祭など）
 - ・全体の交流会
 - ・新規事業（生涯大学とのコラボ、各団体が講師となり行う定期的な講習会やPR、有償事業の立ち上げ）
- それぞれの活動について担当を決めて提案を行っていけばいいのではないかと。

兜山氏より「実際に他団体との交流が成功している事例はあるのか」という質問があり、臼井氏より「九品仏自治会では砂場クラブ、中野ブラザーズタップダンス連盟、和綴じの会「いろは」（予定）との連携が行われている」、鬼塚氏より「せたがや移動ケアの関係（けやき学級）では劇団・せたがや創作紙芝居に公演してもらったし、野鳥ボランティアとのコラボも検討している」との回答がなされた。

また、片岡氏からは「全体交流会と広報活動への期待が高いのではないかと。それぞれの課題に対して担当の世話人を決定し、まとめていく必要がある」との意見が述べられた。

(2) 交流会について

片岡氏より、コミュニティご縁小林氏との打ち合わせ結果について以下のとおり報告がなされた。

交流会の形式はブース形式（大人の学園祭など）や見学体験方式よりも、「交流希望団体から聞き取りを行い、調査の結果に基づいて世話人会が団体間のマッチングを図る」方式がよいのではないかと考えた。

この方式ならば、各団体の要望に基づいたマッチングが行われるので効率がよいと思われる。

今後の進め方は以下を予定する。

- ・ 3月から開始するとしていた各参加団体による個別の説明会は行わない。
 - ・ 聴き取り調査を以下のスケジュールで進める
- 1月：片岡氏が中心となり、各加盟団体のリーダーに聞き取り調査の申込を行う。
- 2月～3月：各加盟団体のリーダーに聴き取り調査を行う。
- 4月～5月：各加盟団体に交流計画を提案し、総会以降に具体的に動き出していく。
- 交流会に関しては個別に交流会を希望している団体に対して働きかけたい。

この報告について、山根氏からは「自分としては交流会の必要性をあまり感じていない。大人の学園祭で行っている名刺交換会程度でもいいと思う。交流会を希望する団体のみに働きかけるのであれば、マッチングの仲人のような役割を担ったらどうか。」との意見が述べられた。

鬼塚氏からは「障害者福祉団体連絡協議会では設立以来、初の交流会を行うことになった。お互いの顔と連絡先を知る交流会が流行りだと感じる。来年度に交流会を実施するための企画書とスケジュールがあったほうがよいだらう」との意見が述べられた。

(3) 新規世話人の募集手順について

事務局より新規世話人の募集手順について説明を行った。また、現世話人の任期は、令和2年3月で志水さんが3期2年目、石川さんが2期2年目で満了であるということが確認された。鬼塚氏からは「令和2年度末で3名の世話人が抜けるので、3人程度は新規世話人を補充したい。」との意見が述べられた。

また、世話人の資格については会則に則り、「議決権を持つものの中から公募」とし、任期が満了となり辞める際には同じ団体内より世話人を推薦してもよいことが確認された。

令和2年度の新規世話人募集は2月末締めで公募することとなり、募集事務は事務局が担当する。

(4) 社会参加のしくみづくりプロジェクトの進め方について

- ・ 前年度の記録について

臼井氏より人材グループではマニュアル作りを予定していることが報告された。

片岡氏からは「昨年度の反省点や改善点を世話人会に提供してもらえると令和2年度に活かせる。」との意見を述べられた。鬼塚氏からも「せっかく公募で新規の実行委員を募るのであれば、企画はゼロから考えたほうがよいと思うが、過去の記録があれば参考になる。」との意見が述べられた。

- ・ 社会参加のしくみづくりプロジェクトの企画について

片岡さんより人材グループで行った企画との違いについて伺いたいとの意見があったため、鬼塚氏より以下の説明がなされた。

- ・ 構成は似ているが、まち歩きと社会参加体験講座をできる限り併せて行いたい。
- ・ 受講生だけに目をむけるのではなく、受講生受け入れ団体も含めて全体の交流を図っていきたい。必ず最後に交流会の実施を計画しているのはこの趣旨をふまえている。
- ・ 企画に係わる人数を増やしたい。

- ・ 公募の開始時期及び公募の範囲について

鬼塚氏より「公募を開始する時期は4月または6月のどちらなのか。できれば4月からプロジェクトとして動き始めたいと思っている。」との質問がなされた。

これに対し、事務局より「令和元年9月に実施した臨時総会で社会参加のしくみづくりプロジェクトについて提案を行い、承認を得ている。提案したスケジュール案では4月に公募を行うこととしているので、令和2年度の総会前ではあるが、4月からプロジェクトを進めることは了承されていると考えてよいのではないか。」との回答が述べられた。

また、事務局より「4月に行う公募はどの程度の範囲に行うのか。ネットワーク団体内に公募するという理解でよいのか。」という質問がなされ、鬼塚氏より「現在人材グループで活動する講座卒業生にも声をかける予定であるので、生涯現役ネットワーク加盟団体の枠を超えた公募を行うことになるだろう。ほかにも社会福祉協議会で活動しているボランティアの方などには声をかけてみたい。声掛けを行う範囲のコントロールは必要だと考えている。」との回答があった。

藤田氏からは「人数が集まらなかった場合には個別に声をかけていくことも必要だ」との意見が出された。

- ・プロジェクトの責任者について

片岡氏より「プロジェクトの責任世話人を決めたほうがよいだろう。鬼塚氏が適任かと思うが、いかがか。」との発言があり、鬼塚氏が了承した。

- ・地域活動体験講座の受け入れ団体について

臼井氏からは「地域活動体験の受入団体が固定化しているので、受入団体を増やしたい」との意見が述べられた。鬼塚氏からも「受入団体として参加すれば、地域活動体験講座の良さが理解できる」との感想が述べられた。片岡氏からは「受入団体の都合もあると思うので、話し合っていく必要がある。」との意見が述べられた。

また、鬼塚氏より「次回世話人会までに具体的なチラシ、再検討したスケジュール、企画案などの提案が必要になる」との意見がなされた。

(5) 令和2年度の世話人会スケジュールについて

世話人会を開催する月を決定した。

⇒4月、5月、7月、8月、10月、12月、3月の計7回を予定とする。

(6) せたがや生涯現役ネットワーク加盟団体活動一覧の更新について

せたがや生涯現役ネットワーク加盟団体活動一覧の更新について事務局より説明がなされた。

臼井氏より「紹介文について文字数の制限はなくなったのか」という質問がなされ、事務局より「当初はあったと思われるが、ここ数年は文字数の制限を設けていない」との回答があった。

また、各団体へのホームページはアドレスを記載するのではなく、QRコードのほうがよいのではないかとこの提案が山根氏よりなされていたこともあり、令和2年度の加盟団体活動一覧ではその部分を修正することとした。

パンフレットについては昨年度と同様に3月の世話人会で発注までの流れを確認するが、①6月までにパンフレットのデザインを決定し、発注することと、②希望団体は写真を更新することが決定された。また、写真更新の希望については加盟団体活動一覧の更新と併せて確認することとする。

(7) その他

- ・ホームページ委員会について

鬼塚氏より「ホームページ委員会はどのぐらいの頻度で集まっているのか」との質問がなされた。藤田氏、片岡氏、石川氏より「随時である。各自が岡崎氏と会う機会があるため、その場で情報交換を行っている。」との回答がなされた。

また、ホームページに世話人会の議事録を掲載していること、ホームページ閲覧者の分析は可能かということが話題にあがった。

片岡氏より「各団体の紹介記事を作成して掲載することはできるか」との質問があったが、藤田氏より「作業量が多く、困難だろう」との回答がなされた。

定年退職をした人や時間に余裕ができた人が、なにかやりたいと探したときに目にとまるキーワードを検討する必要があるとの意見がだされた。

・プロジェクト事業について

鬼塚氏よりプロジェクト事業は廃止してもよいのではないかとの提案がなされた。この提案に対する事務局の意見は以下のとおり。

プロジェクトは会則に定められている事業であり、団体間のマッチングを生み出すという趣旨ではじめられたが、近年はプロジェクトへの応募が少ない状況である。廃止とする場合は総会で諮る必要があるだろう。プロジェクト支援金として計上している予算を別企画のために利用したいと提案すればよいのではないかと。

会則変更の有無（会則を変更してプロジェクトに関する箇所を削除するのか、会則は変更せずに休止の対応とするのか）と報告の時期（令和2年度の総会で報告するのか、今年度の応募状況を確認し9月の臨時総会で報告をするのか）については検討する必要がある。

⇒3月の世話人会で検討する。

・個人会員について

藤田氏より「会則の第4条に個人会員についての記載があるが、記載しなくてもよいのではないか。」との提案がなされた。

⇒3月の世話人会で検討する。

（8）次回の世話人会の開催予定

- ・日時：3月13日（金） 17時～
- ・場所：ひだまり友遊会館 第1会議室